

持続可能な一次産業の確立 ～RESASを活用した施策立案支援事業～



宗像市



令和3年7月1日(木)

<u>Chapter 1</u>	宗像市の概要	P1～11
<u>Chapter 2</u>	宗像市の産業の概要	P12～19
<u>Chapter 3</u>	宗像市の農業の概要	P20～27
<u>Chapter 4</u>	宗像市の水産業の概要	P28～37
<u>Chapter 5</u>	政策立案	P38～45

Chapter 1 宗像市の概要



宗像市

■主要データ

面積	119.94km ²
人口※	97,299人
世帯数※	42,100世帯

※平成29年12月末日時点

■沿革

昭和の大合併が進んでいた昭和29年、旧宗像町が誕生しました。翌年には、旧玄海町が誕生しました。

昭和52年には、旧宗像町の人口が5万人を突破し、昭和56年に旧宗像市が誕生しました。

その後、地方分権や少子高齢化の進展への対応などの社会全体の流れや、それぞれの市町村の特徴と資源を生かしたまちづくりを進めるため、平成15年に旧宗像市と旧玄海町が合併し、新しい宗像市が誕生しました。

平成17年には旧大島村と合併し、現在の宗像市となっています。

■地勢

宗像市は北九州市と福岡市の両政令指定都市の中間に位置し、北を除く3方向を山に囲まれ、玄界灘に大島、地島、沖ノ島、勝島を有しています。また、市の中心部には、水源でもある釣川が流れ、玄界灘に注いでいます。

市内を東西に横断するJR鹿児島本線や国道3号および国道495号により二大都市への交通アクセスが充実し、住宅団地や大学、大型商業施設などが相次いで進出しました。これに伴い、急激な都市化が進み、生活環境や都市基盤が整備され、教育や文化、子育て支援などが充実し、人口も増加してきました。

代表的な特産品やスポット

道の駅むなかた



H20年設立。水産物・農産物直売所として年間160万人が来場。
(R2年度累計2,000万人突破)

鐘崎天然とらふく



年間約50tの水揚げ。「鐘崎天然とらふく」は地域団体商標登録に指定されている。

宗像大社(写真は辺津宮)



日本神話に登場する日本最古の神社の一つ。御祭神は、天照大神の三女神で、沖津宮、中津宮、辺津宮にそれぞれ祀られている。

宗像大社秋季大祭(みあれ祭)



宗像大社で執り行われる秋季大祭の最初に行われる海上、航海安全や大漁などを願って行われる祭礼(海上神幸)。

宗像市にある大学、施設等

福岡教育大学



日本赤十字九州国際看護大学



宗像ユリックス



神湊渡船ターミナル



その他宗像市で行われる特徴的な事業や取り組み

SDGs未来都市(R2年度選定)



団地再生事業



オンデマンドバス実証運行



宗像国際環境100人会議



沖ノ島全景



日本列島と朝鮮半島を結ぶ海域に位置する沖ノ島では、古来、航海安全の祈りが捧げられ、崇拝されてきました。祭祀跡からは、約8万点もの奉獻品が出土。立ち入りを許さない厳格な禁忌は、500年間にも及ぶ古代祭祀の跡をその後1000年以上手つかずの状態を守り伝えてきました。

沖ノ島に宿る神を崇拝する伝統が、古代東アジアにおける活発な対外交流が進んだ時期に発展し、**今日まで継承されてきたことを物語る稀有な物証**として、平成29年7月にユネスコ世界文化遺産に登録されました。

本遺産は、沖ノ島に宿る神への信仰を起源とする宗像三女神をお祭りする宗像大社三宮（沖津宮、中津宮、辺津宮）、遥か彼方に沖ノ島を望む大島の沖津宮遙拝所、信仰の伝統を築いた人々が眠る新原・奴山古墳群で形成されています。

古代東アジアで行われた活発な対外交流の時期に遡る航海安全のための信仰は、日本固有の自然崇拝思想の原初的な形態を残し、その後の祭祀行為や信仰の意味が変容するものの、**現代まで一貫して宗像地域の人々によって継承されてきました**。このことが世界に例のない物証として顕著な普遍的な価値を持つと評価されました。



世界遺産への登録は航海安全を願う信仰を古より守り続けてきた宗像地域の人々の、たゆみない努力のたまものである。

航海安全だけでなく、大漁祈願や五穀豊穡などの祈りも、形を変えながらも神事や祭事として宗像地域の人々は続けてきた。それは、暮らしの中で漁業や農業の営みをより恵みあるものにするための日常の信仰の積み重ねであった。

宗像地域の漁業や農業が衰退するようなことがあれば、信仰は途絶えるだけでなく、資産周辺の景観を支えてきた漁村・農村の文化的な景観や歴史的な風致も損なわれることになりかねない。

世界遺産の価値を継続していくためには、漁業や農業を基礎に地域が安定的に景観や風致を保持していくことが何より大きな柱となる。つまり本遺産における世界遺産の価値と一次産業の継続・発展は不可欠なのである。



目的地別検索ランキング

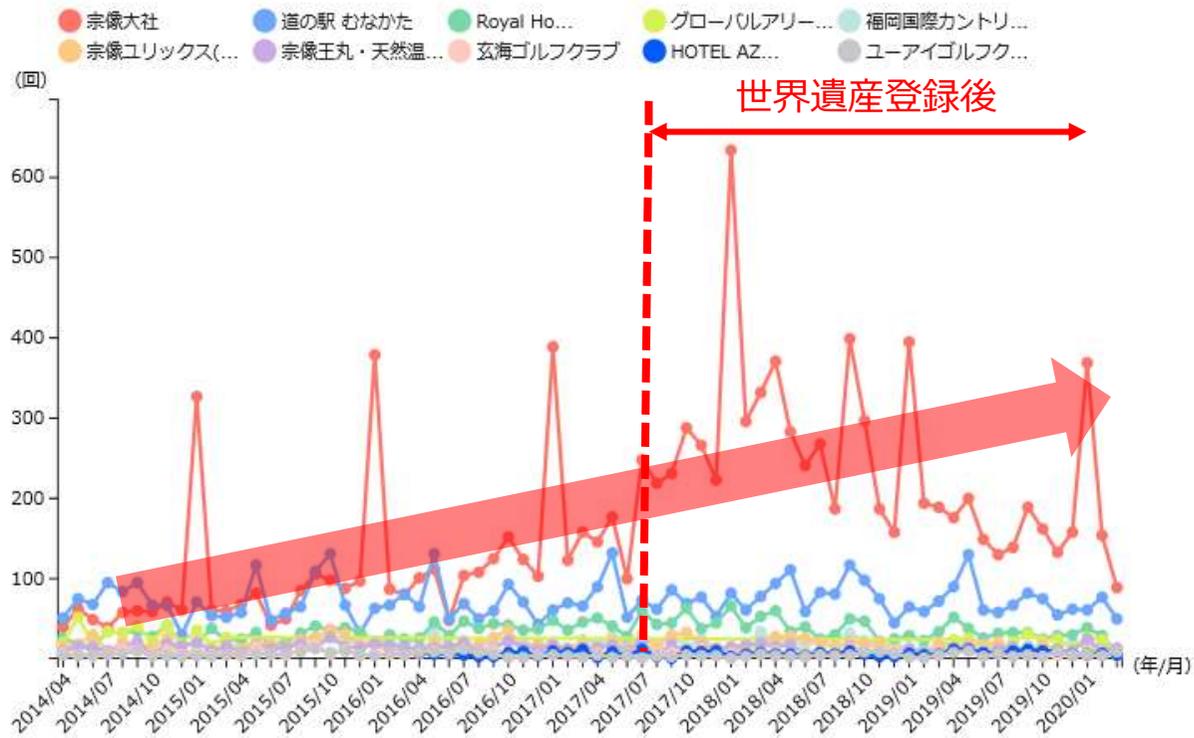
自動車利用における検索ランキングは「宗像大社」が常に一位にランクインしている。
世界遺産登録後はその数が増加している。

目的地検索ランキングの推移

福岡県宗像市

2014年4月～2020年3月(休日)

自動車



2014/4～2020/3

休日
自動車利用

<検索ランク>

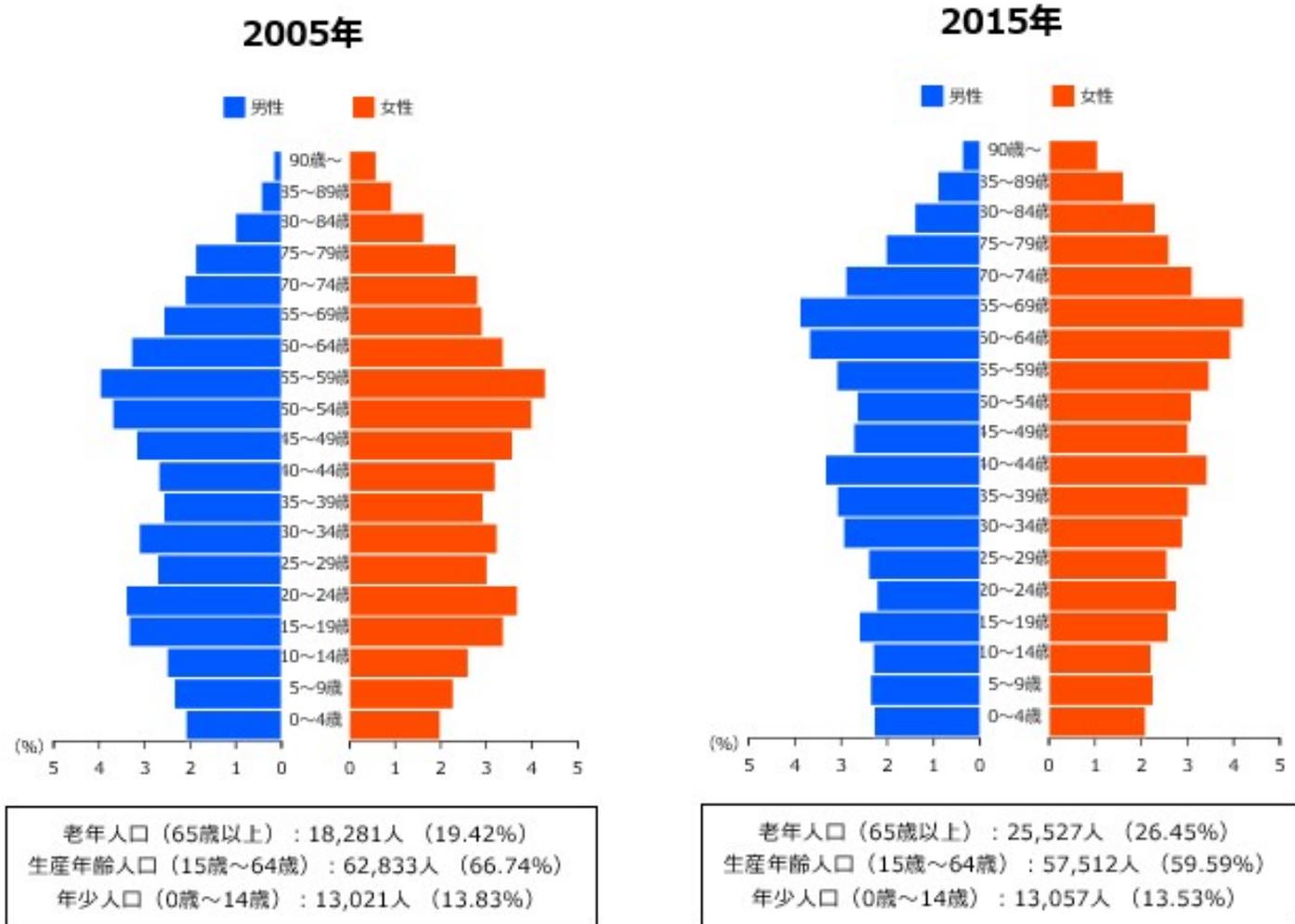
- 1、宗像大社
- 2、道の駅
- 3、Royal Hotel
- 4、グローバルアリーナ
- 5、福岡国際カントリー
- 6、ユリックス
- 7、やまつばさ
- 8、玄海ゴルフ
- 9、Hotel AZ
- 10、ユーアイゴルフクラブ

総人口は2020年をピークに緩やかな減少傾向が想定される。
生産年齢人口は2005年をピークに減少しているが、老年人口は増加する見込み。



【出典】RESAS(総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」)

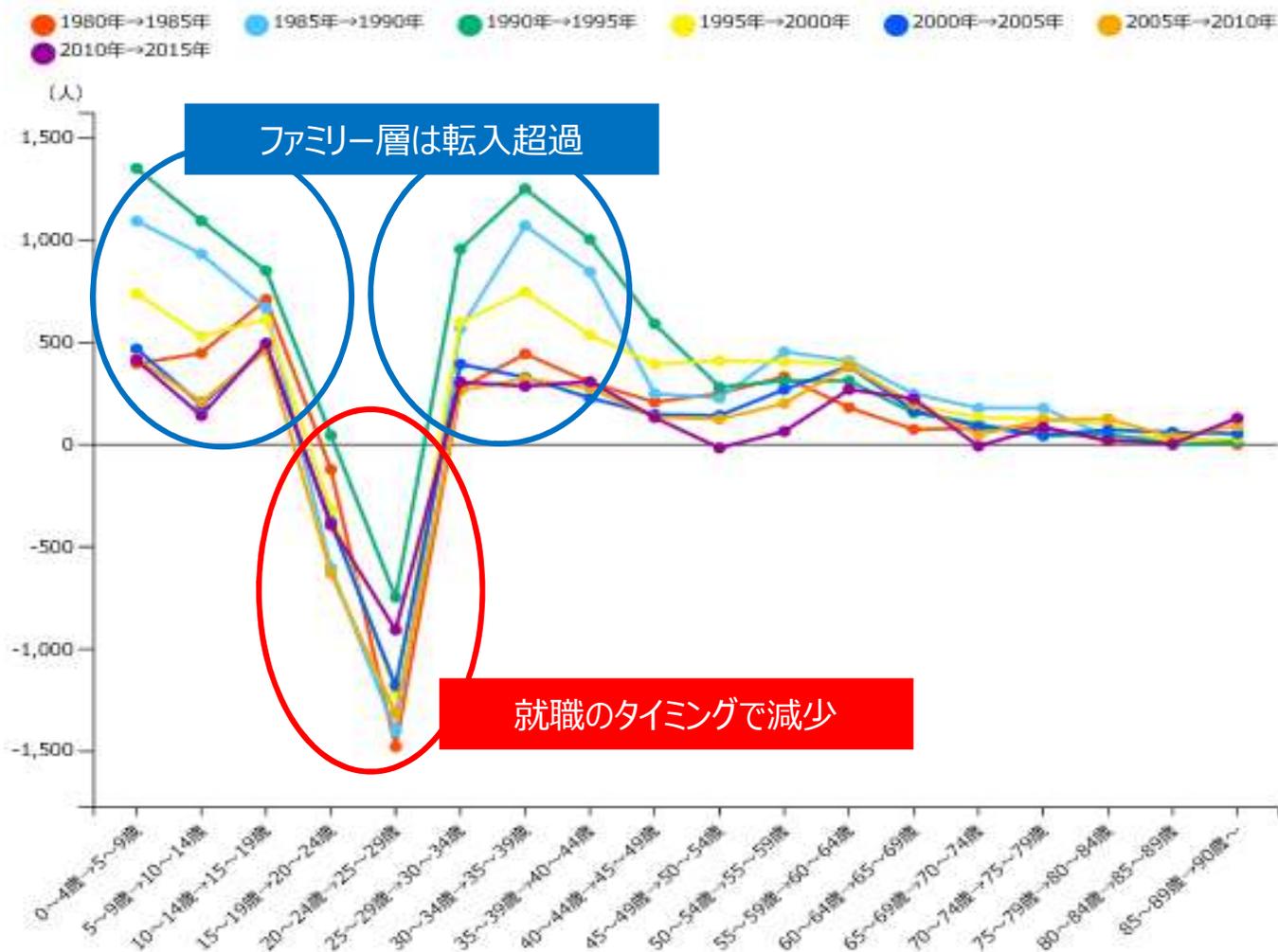
現在の宗像市となったH17年(2005年)から老齡人口の割合が約7%増加している。



【出典】 RESAS(総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」)

年齢階級別純移動数の時系列分析

本市は2つの大学が立地していることから就職のタイミングで減少している。
しかしファミリー層については順調に転入している状況である。



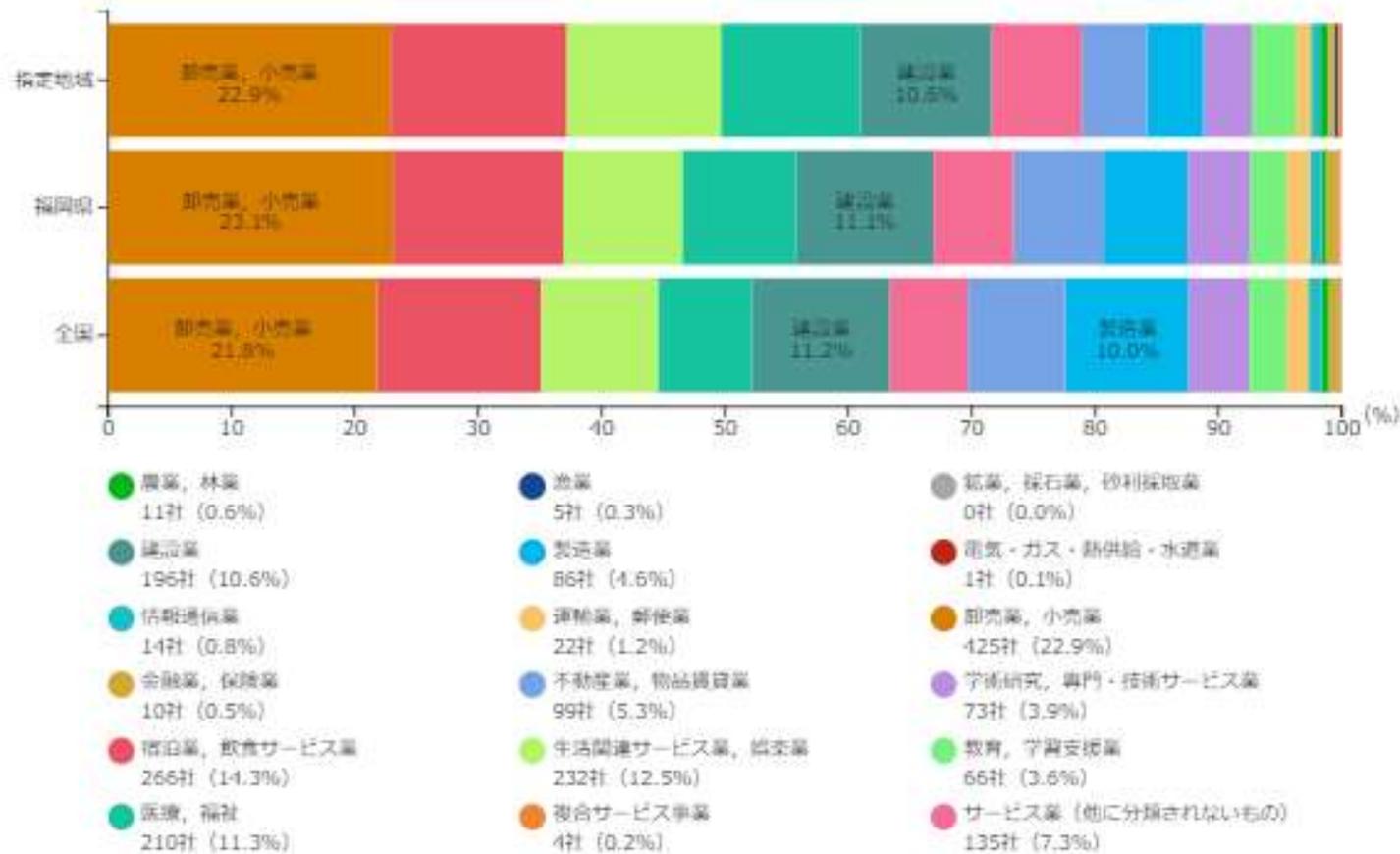
【出典】RESAS(総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成)

Chapter 2 宗像市の産業の概要

宗像市産業構成(業種別企業数)

宗像市の企業数は卸売業・小売業(22.9%)、宿泊業・飲食サービス業(14.3%)、生活関連サービス業・娯楽業(12.5%)、医療・福祉(11.3%)で約61%を構成している。

2016年宗像市業種別企業数

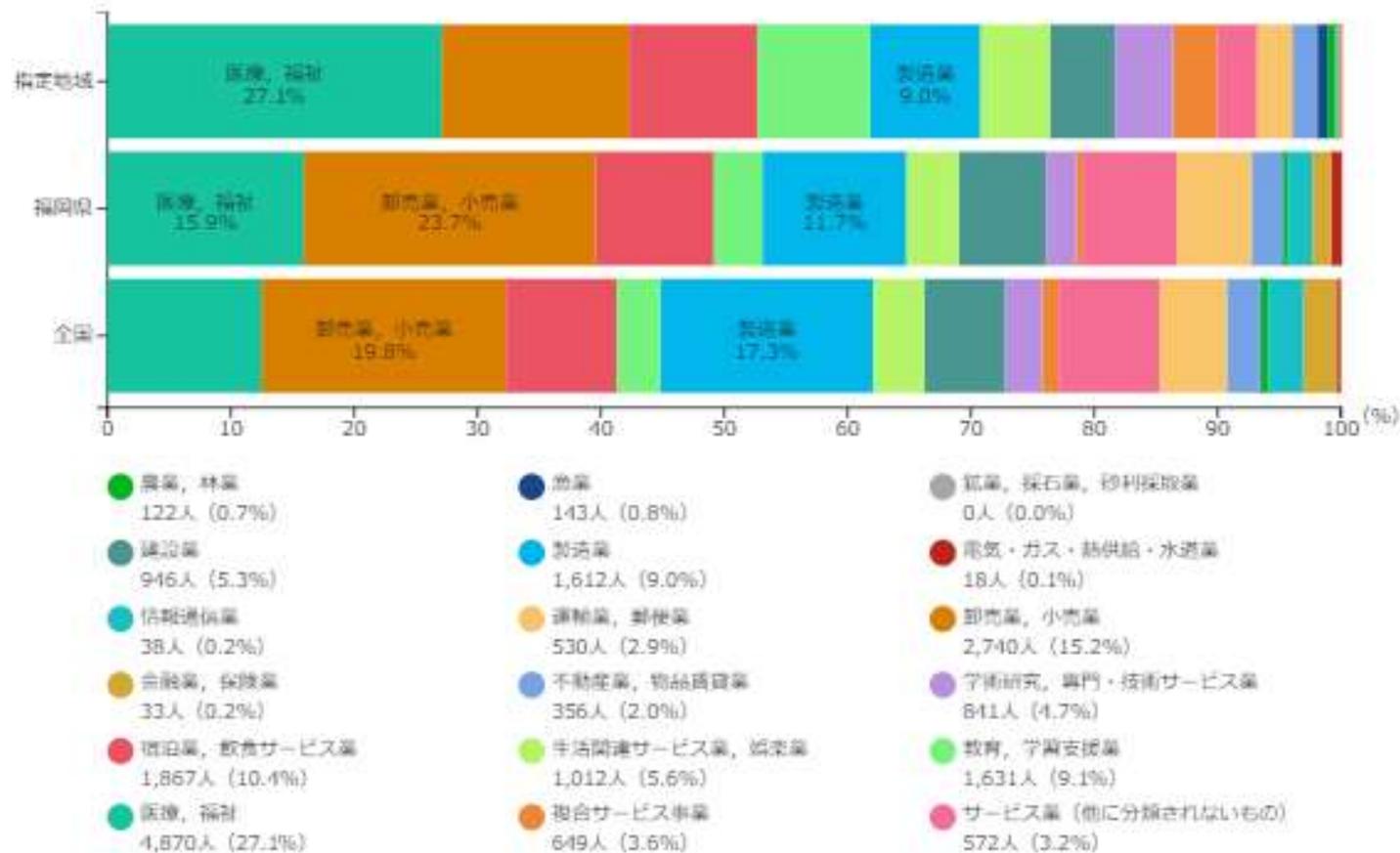


【出典】RESAS(総務省「経済センサス-基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工)

宗像市産業構成(業種別従業員数)

宗像市の業種別従業員数は医療・福祉(27.1%)、卸売業・小売業(15.2%)、宿泊業・飲食サービス業(10.4%)、教育・学習支援業(9.1%)で約62%を構成している。

2016年宗像市業種別従業員数

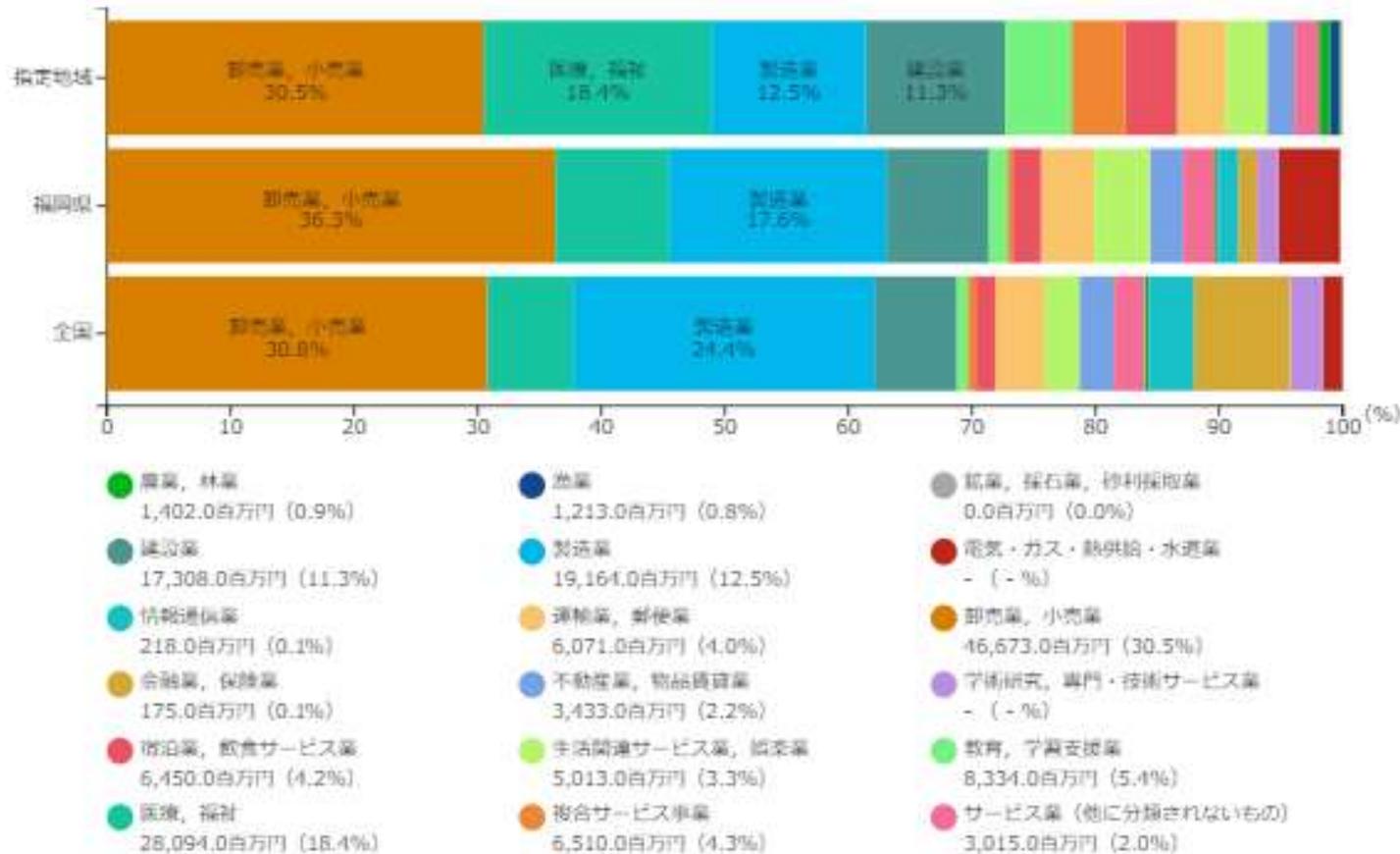


【出典】 RESAS(総務省「経済センサス-基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工)

宗像市産業構成(業種別売上高)

宗像市の業種別売上高は卸売業・小売業(30.5%)、医療・福祉(18.4%)、製造業(12.5%)、建設業(11.3%)で約70%を構成している。

2016年宗像市業種別売上高

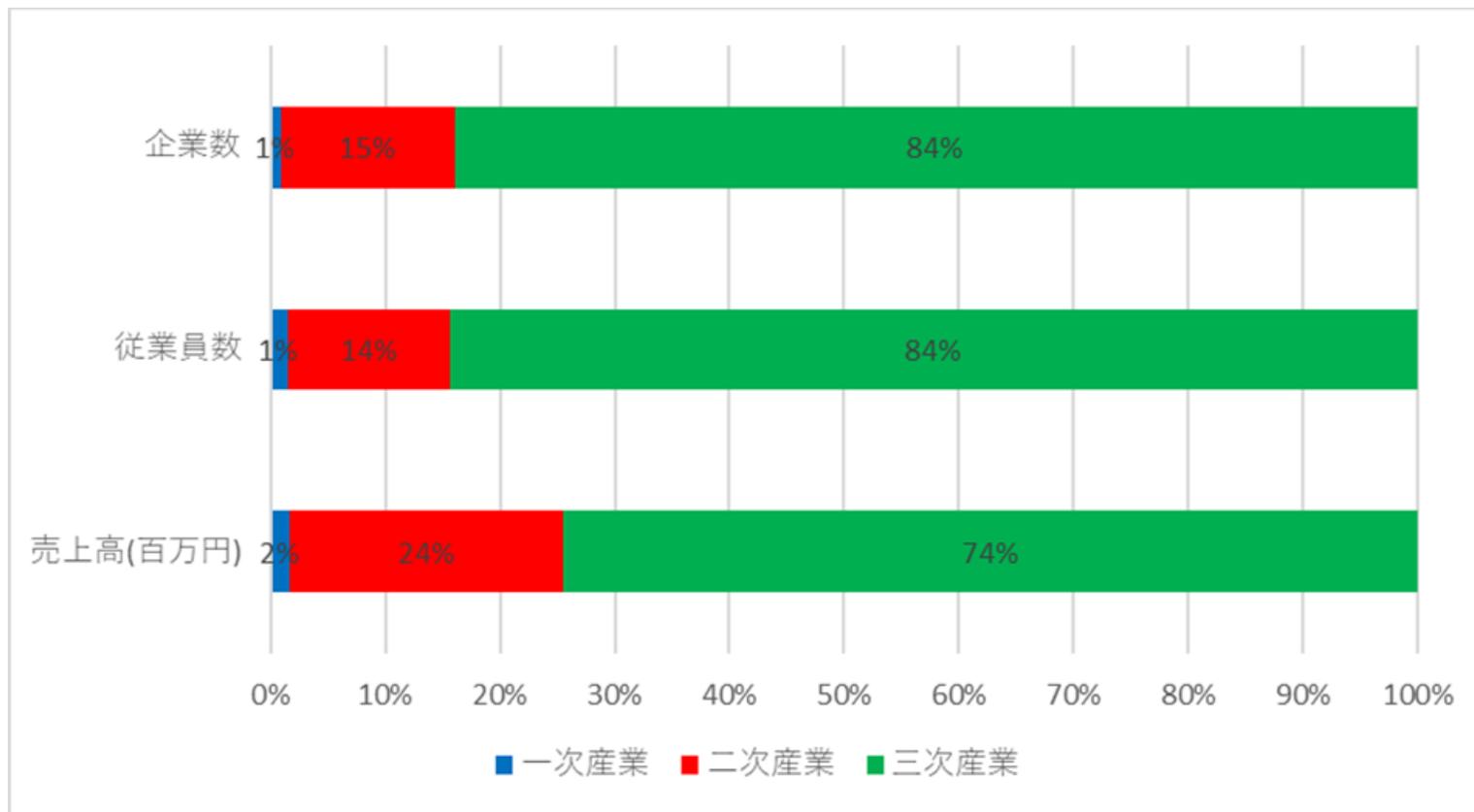


【出典】RESAS(総務省「経済センサス-基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工)

宗像市産業構成(産業分類)

企業数、従業員数、売上高の各指標で三次産業の割合が最も高い。
一次産業の割合は各指標で約1%。

2016年宗像市産業別分類



【出典】 RESAS(総務省「経済センサス-基礎調査」再編加工、
総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工)

宗像市三次産業分類

三次産業を事業分類別で見ると複合サービス事業は1企業あたりで売上高が大きい。
複合サービス事業を細分化すると農業・漁業協同組合である。

大分類	市内計			1企業あたり	
	企業数	従業員数	売上高(百万円)	従業員数	売上高(百万円)
卸売業, 小売業	425	2,740	46,673	6	110
宿泊業, 飲食サービス業	266	1,867	6,450	7	24
生活関連サービス業, 娯楽業	232	1,012	5,013	4	22
医療, 福祉	210	4,870	28,094	23	134
サービス業 (他に分類されないもの)	135	572	3,015	4	22
不動産業, 物品賃貸業	99	356	3,433	4	35
学術研究, 専門・技術サービス業	73	841	0	12	0
教育, 学習支援業	66	1,631	8,334	25	126
運輸業, 郵便業	22	530	6,071	24	276
情報通信業	14	38	218	3	16
金融業, 保険業	10	33	175	3	18
複合サービス事業	4	649	6,510	162	1,628
電気・ガス・熱供給・水道業	1	18	0	18	0

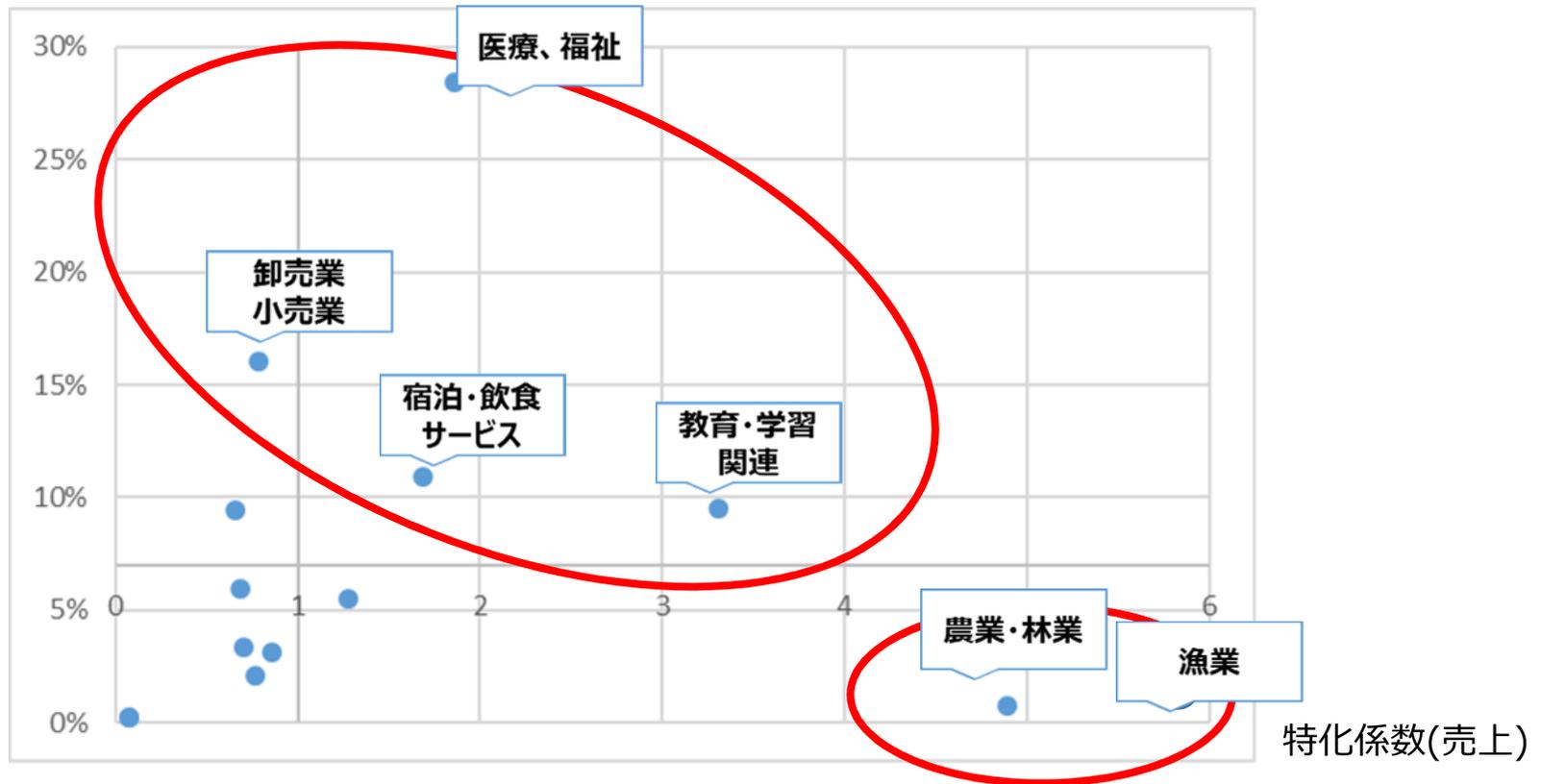
主として協同組合

【出典】RESAS(総務省「経済センサス-基礎調査」再編加工、
総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工)

特化係数分析(宗像市-福岡県)

農業・林業、水産業の売上特価係数が非常に高く、県内では特徴のある業種である。また三次産業の就労構成が高いことから記載の4事業は充実している。

雇用力
(従業員割合)

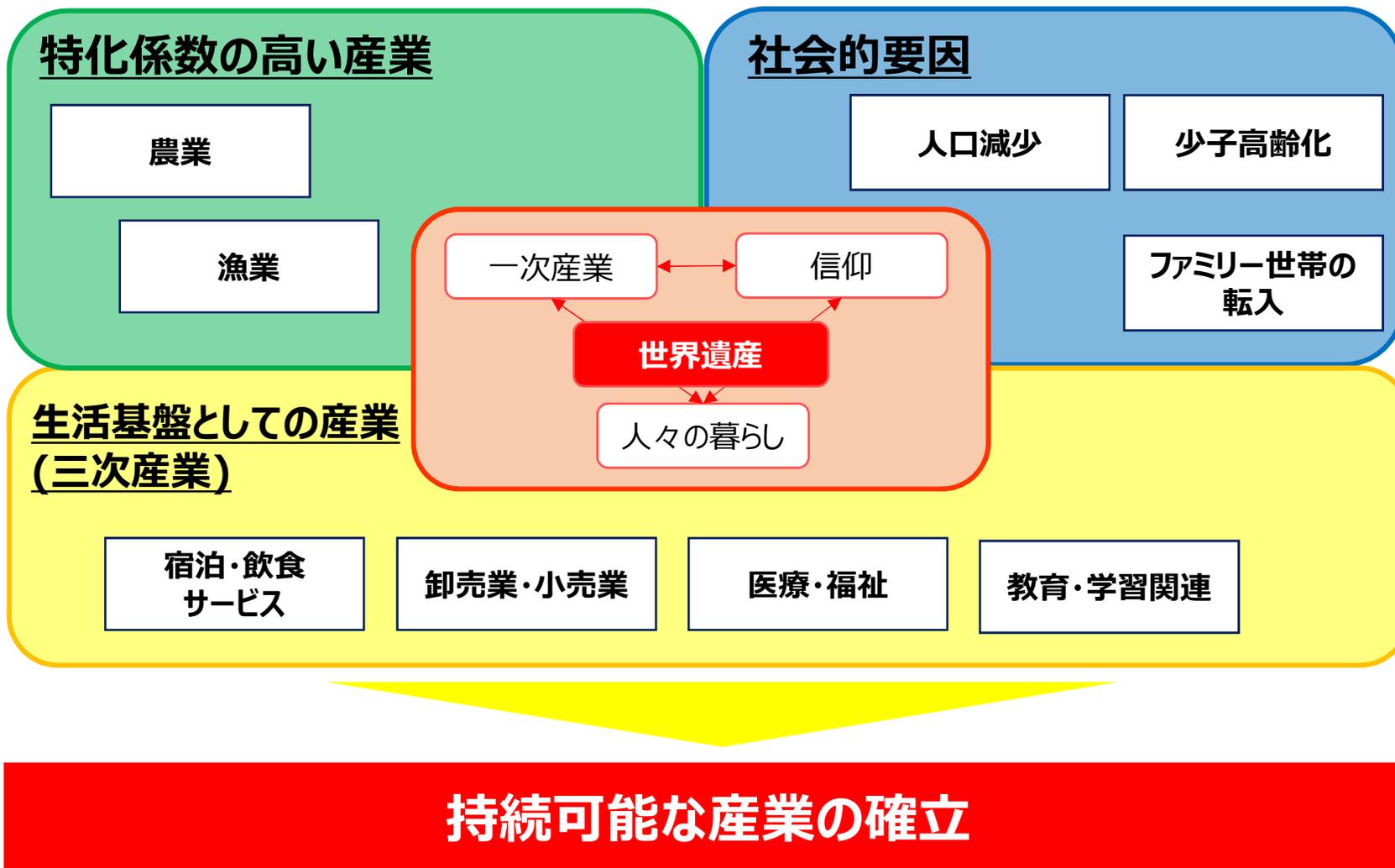


特価係数(売上)

$$= (\text{宗像市} \bullet \bigcirc \text{産業売上高} / \text{宗像市全産業売上高}) / (\text{福岡県} \bullet \bigcirc \text{産業売上高} / \text{福岡県全産業売上高})$$

【出典】 RESAS(総務省「経済センサス-基礎調査」再編加工、
総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工)

世界遺産の価値に密接に関係性のある一次産業を、本市において充実度の高い三次産業を生活基盤として活用し、一次産業の事業者を増やしていくことで、持続的な産業の確立を図ることができないか？



持続可能な産業の確立

Chapter3 宗像市の農業の概要

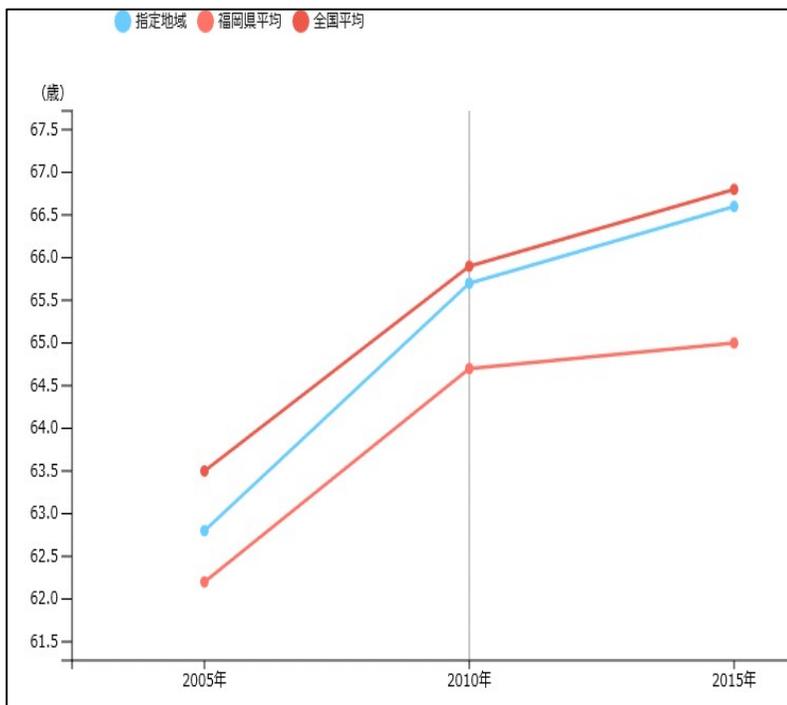
宗像市の農業就業人口は、5年間で206人減少しており、その減少率は県平均及び全国平均と比較しても高く、担い手の減少が確実に進んでいる。

農業就業人口				
	2010年(a)	2015年(b)	差 (b-a)	比率 (b/a)
宗像市	1,134	928	▲206	82%
福岡県	68,091	56,950	▲11,141	84%
全国	2,528,000	2,155,000	▲373,000	85%

農業者の平均年齢の推移

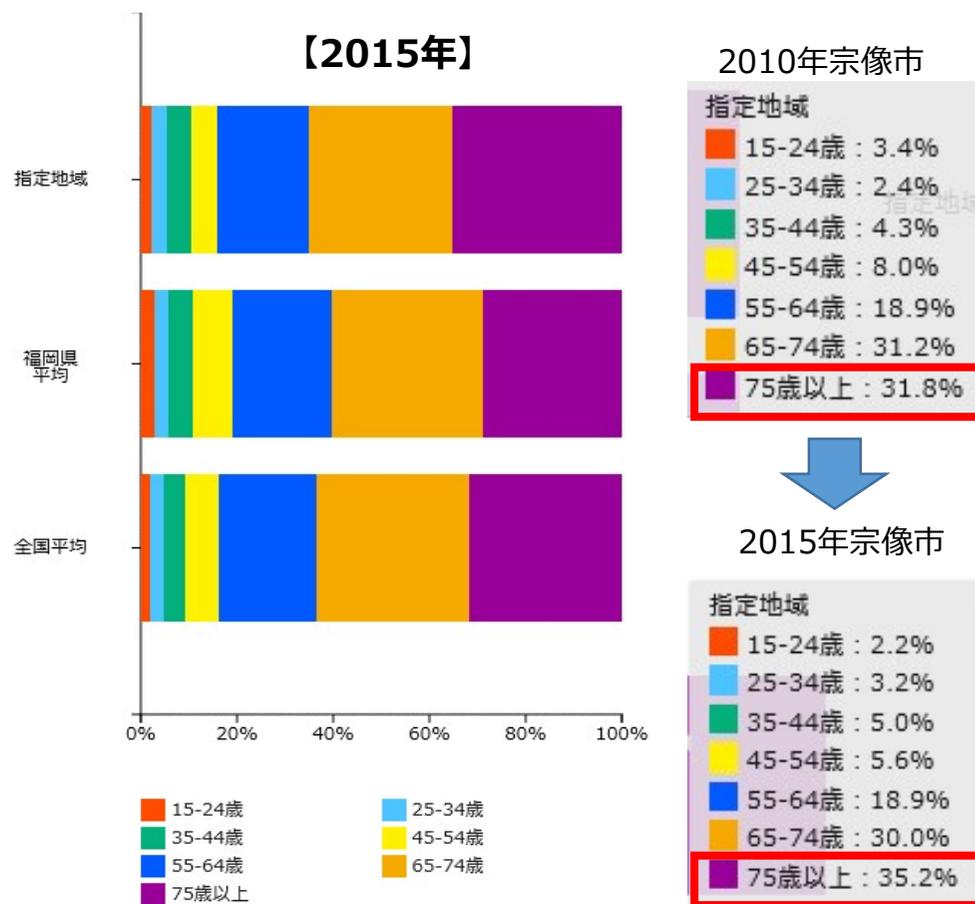
宗像市の農業者の平均年齢は上昇しており、県平均を上回っている。
また、75歳以上の割合が、3.4ポイント上昇しており、高齢化が確実に進んでいる。

農業者の平均年齢の推移



	2005年	2010年	2015年
宗像市	63歳	66歳	67歳
福岡県平均	63歳	65歳	65歳
全国平均	64歳	66歳	67歳

農業就業人口の年齢構成

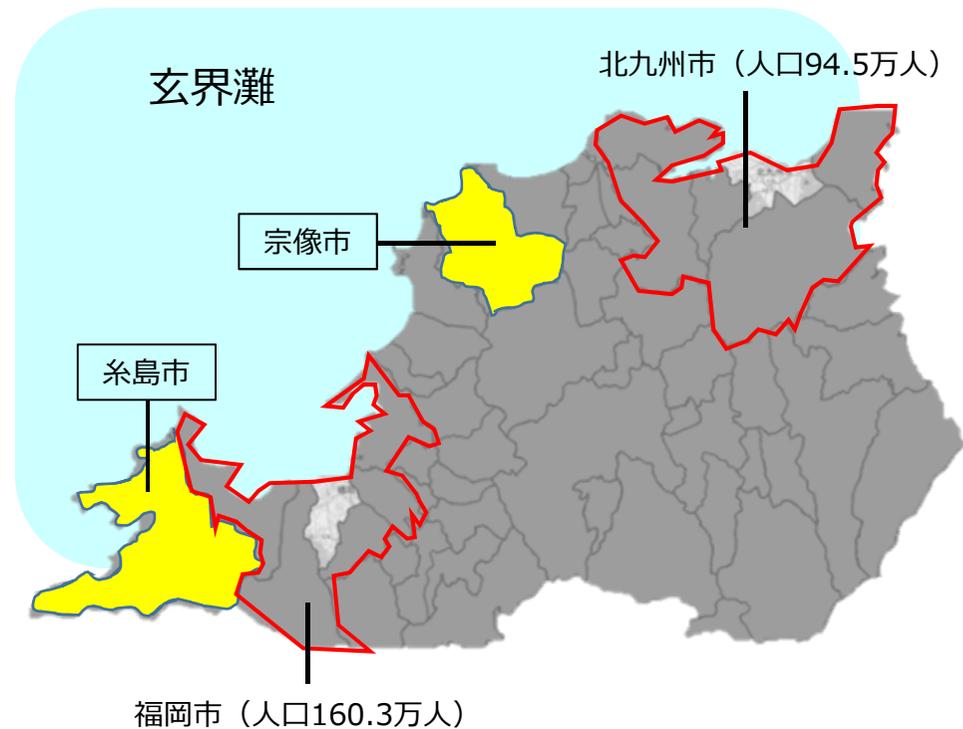


【出典】RESAS(農林水産省「農林業センサス－基礎調査」再編加工)

比較対象地の選定

福岡県内で、人口規模・地理的条件等が類似する糸島市を比較対象地とした。

	宗像市	糸島市
人口	9.7万人	10.2万人
地理的条件	福岡市、北九州市の近郊	福岡市に隣接
位置・地形	県の北部に位置し、山と海に囲まれている	
総面積	120 km ²	216 km ²
耕地面積	2,020 ha	4,230 ha



【出典】

- ・人口・総面積：宗像市及び糸島市公式ホームページより引用（2021年3月末）
- ・耕地面積：農林水産省統計情報より引用（2020年）

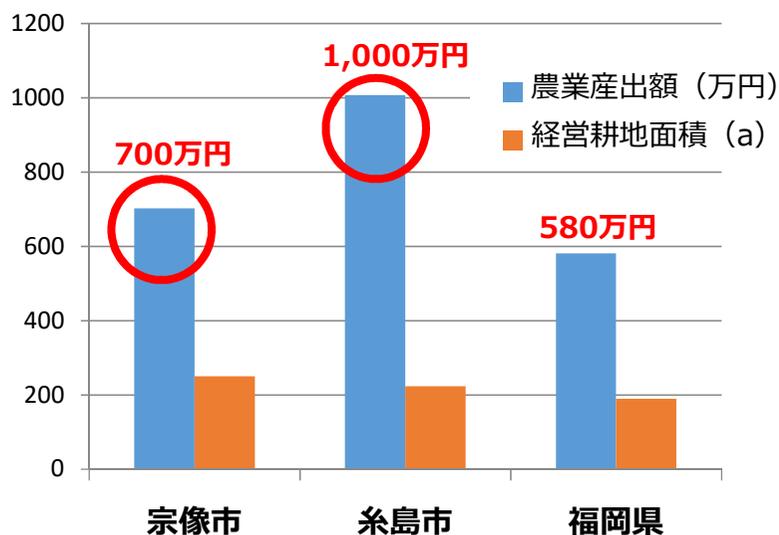
1 経営体あたりの農業産出額は、県平均を上回っているものの、糸島市に比べ、3割ほど低い。また、1 経営体あたりの経営耕地面積は県平均・糸島市と同等であることから、糸島市の産出額や出荷先を分析することで、宗像市の強みと弱み、今後の方向性を模索する。

農業産出額と経営体数の比較

	農業算出額 (億円)	経営耕地面積 (ha)	経営体数 (経営体)
宗像市	43 <16>	1,515 <16>	607 <21>
糸島市	159 <3>	3,536 <6>	1,583 <4>
福岡県	2,093	68,316	36,032

※<>内は県内順位

1 経営体あたりの農業産出額と経営耕地面積の比較



※農業産出額・・・農家が生産した農畜産物を販売した売上額のこと。

【出典】RESAS（農林水産省「市町村別農業産出額」を再編加工）
 農業産出額：2018年
 農業経営体数・経営耕地面積：2015年

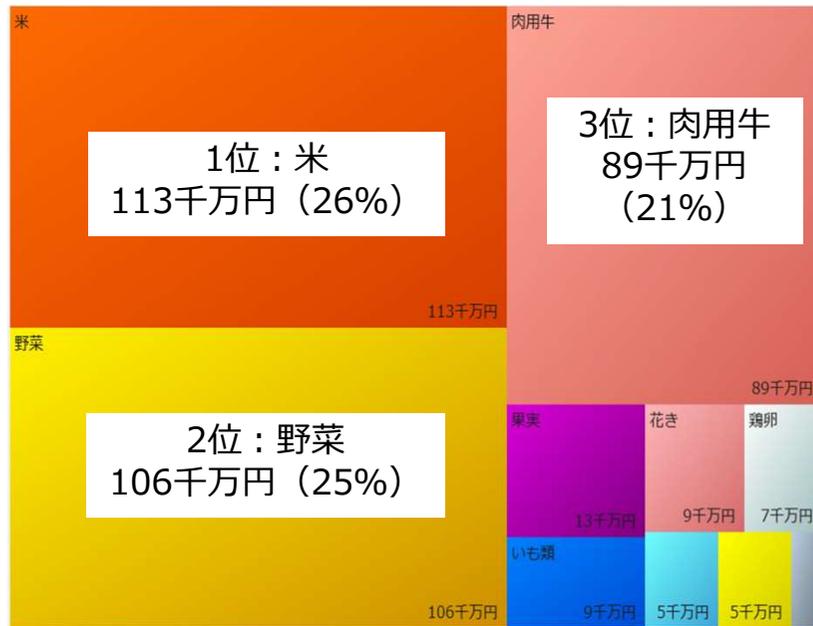
部門別産出額

部門別算出額の割合を比較。

- 宗像市：米と野菜で全体の4分の1ずつを占めている。
- 糸島市：野菜の割合が最も多く、次いで米が多い。合わせると全体の半数を超える。

【宗像市】

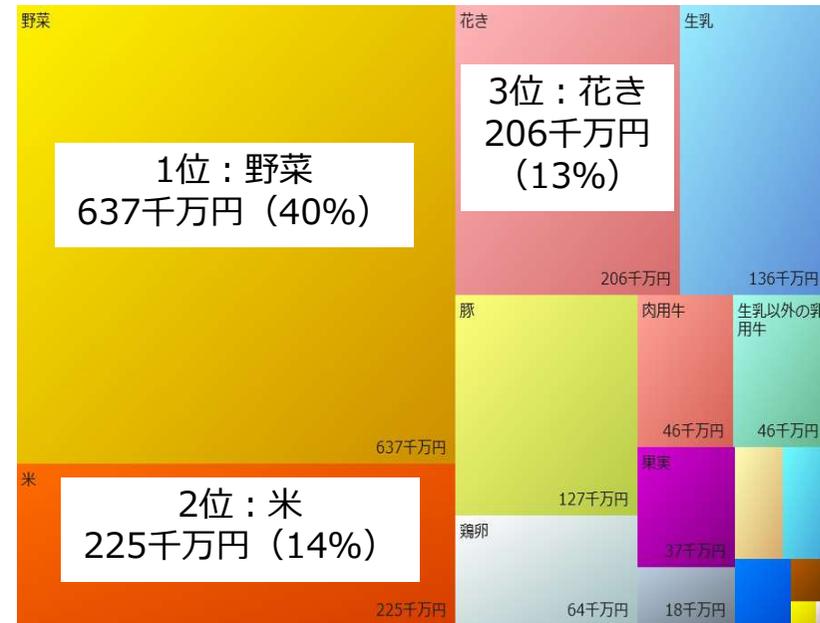
2015年部門別産出額（426千万円）



- 4位：果実（13千万円、3%）
- 5位：いも類、花き（各9千万円、各2%）

【糸島市】

2015年部門別産出額（1,594千万円）



- 4位：生乳（136千万円、9%）
- 5位：豚（127千万円、8%）
- 9位：果実（37千円、2%）

農産物の出荷先・消費先

- 宗像市：農協を除くと、農協以外の集出荷団体や直販、小売業者への出荷割合が多い。また、加工や観光農園での消費割合が少ない。
- 糸島市：農協への出荷が6割以上あり、次いで直販や卸売市場への出荷割合が多い。また、農協を含む直接販売に次いで、加工や観光農園で消費する割合が多い。

農産物の出荷先別経営体数の割合

強み

	農協	農協以外の集出荷団体	卸売市場	小売業者	食品製造業・ 外食産業	消費者に直接販売	その他
宗像市	56.0%	6.1%	4.7%	5.9%	0.9%	23.2%	3.1%
糸島市	63.8%	4.6%	8.7%	2.6%	1.8%	16.2%	2.4%

農産物の消費先の割合（構成要素別実施割合）

弱み

	農産物の加工	消費者に直接販売 (農協含む)	貸農園・ 体験農園等	観光農園	農家民宿	農家レストラン	その他	<参考> 農業就業者の 65歳以上の 割合
宗像市	9.5%	84.6%	3.0%	1.3%	0.3%	1.0%	0.3%	65.2%
糸島市	11.4%	81.5%	3.1%	3.3%	0.0%	0.7%	0.2%	52.1%

【出典】RESAS(農林水産省「農林業センサス－基礎調査」再編加工)

宗像市の農業は以下のような「強み」と「弱み」があると言えることが分かった。

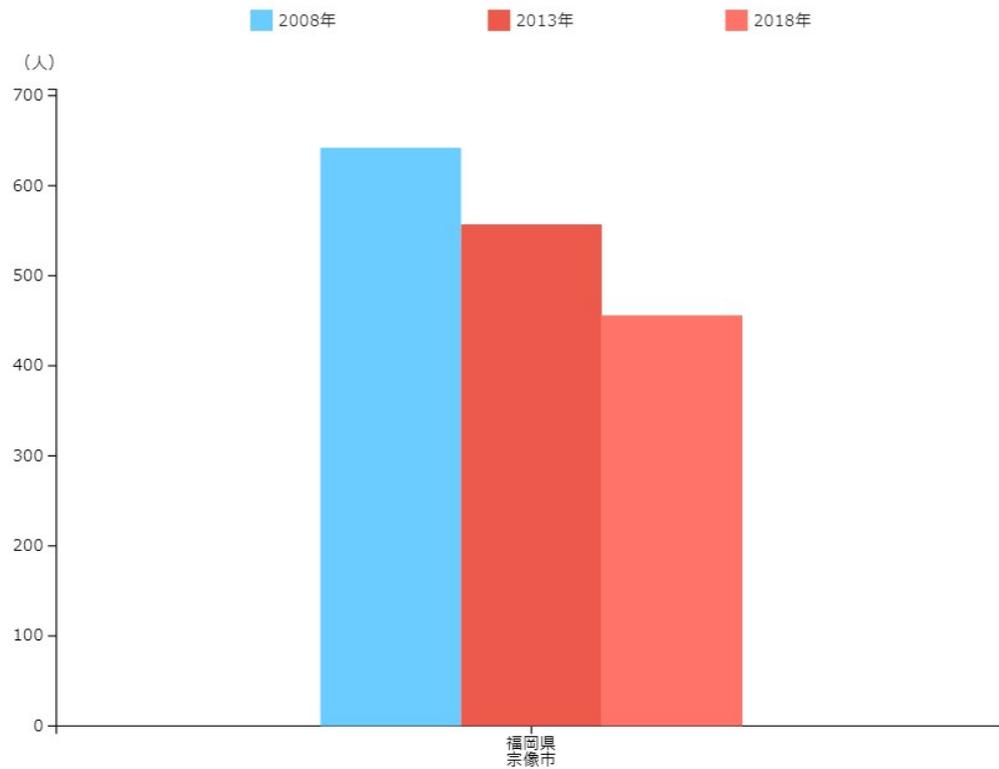
強み	弱み
<p>1. 果実の産出額が比較的多い</p> <p>要因</p> <ul style="list-style-type: none">・「あまおう」などのいちご栽培が盛ん・大規模みかん農園がある・いちご栽培を始める新規就農者が増加傾向 <p>2. 小売や直販が比較的多い</p> <p>長所</p> <ul style="list-style-type: none">・販売ルートを持つ農家が多い・売値を設定しやすい・農家の想いを消費者に届けやすい <p>3. ベテラン農家が多い</p> <p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none">・農業のノウハウを蓄積した農家が多い・後継者を探している	<p>1. 米の生産割合が高い。 農産物を加工する割合が少ない。</p> <p>短所</p> <ul style="list-style-type: none">・米は差別化が難しい上、価格競争が厳しい・付加価値をつけることができていない (農業算出額の向上・安定につながりにくい) <p>2. 観光農園を営む農家が少ない</p> <p>短所</p> <ul style="list-style-type: none">・宗像市の農業を知ってもらう機会が少ない・収穫などの作業に人手が必要・規格外のモノが売りにくい <p>3. 高齢化が進んでいる</p> <p>短所</p> <ul style="list-style-type: none">・農業従事者の減少につながる・1人あたりの生産量、農業算出額が少ない

Chapter4 宗像市の漁業の概要

宗像市の海面漁業の就業者数は減少傾向

海面漁業の就業者数

指定地域：福岡県宗像市



集計年	経営体数	海面漁業の就業者数
2008	308	642
2013	288	557
2018	258	456

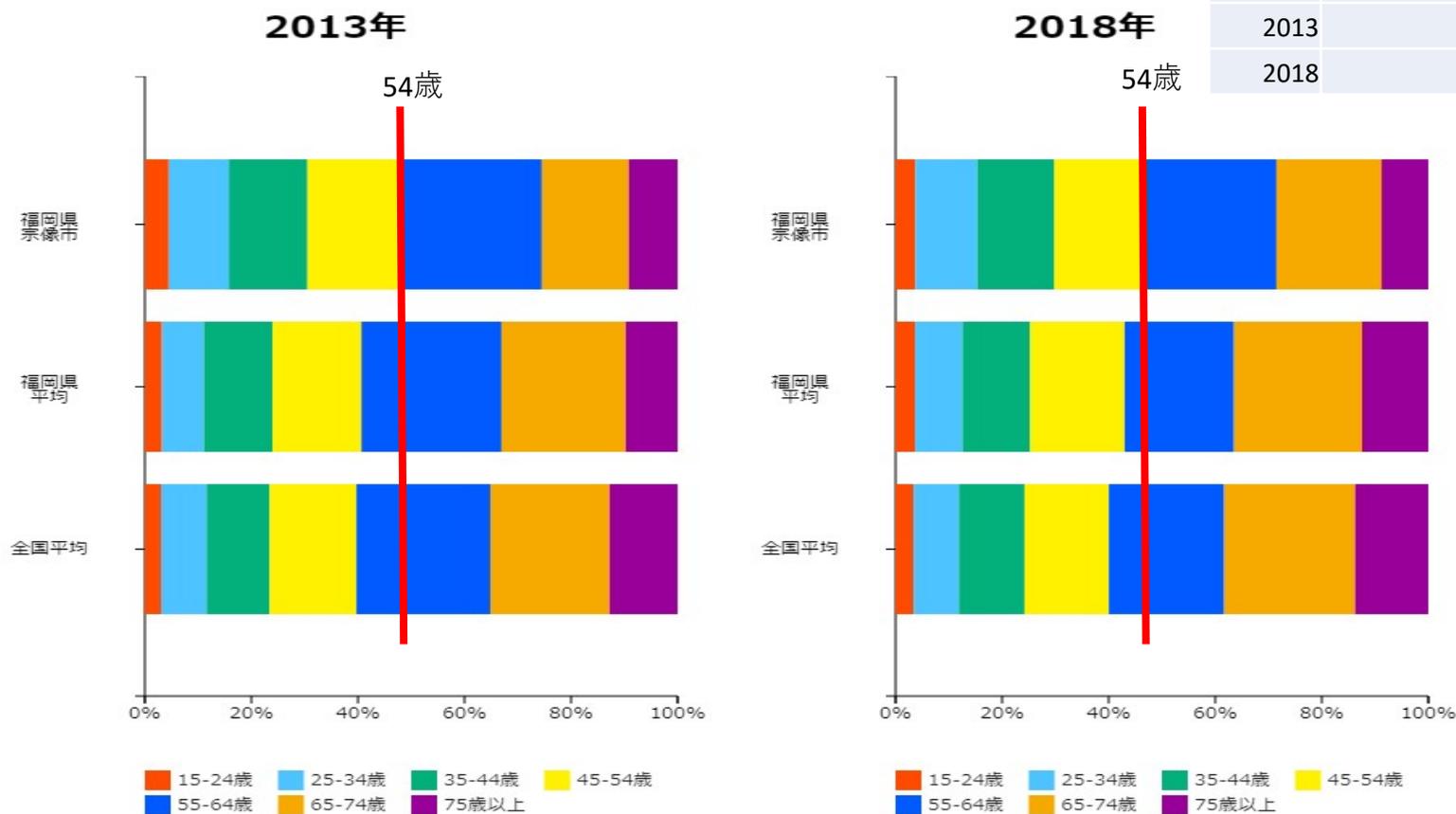
漁業者年齢構成

宗像市の海面漁業就業者数の年齢構成は、54歳以下の割合は全国平均、福岡平均と比べて高いものの、年々高齢化率は上昇している。

海面漁業就業者の年齢構成

指定地域：福岡県宗像市
性別：総数

集計年	高齢化率 (65歳以上の割合)
2008	0.2134
2013	0.2549
2018	0.2851



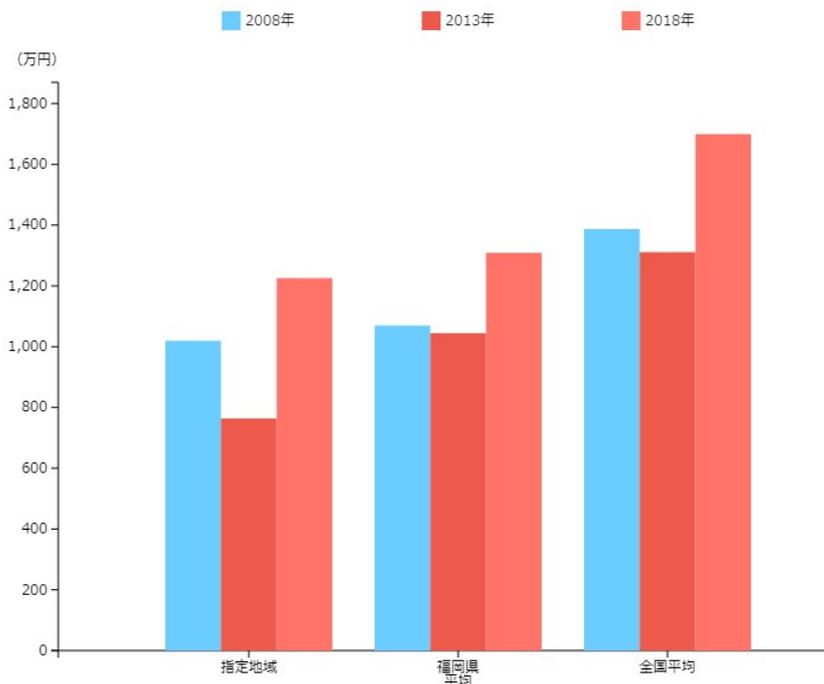
【出典】RESAS(農林水産省「漁業センサス」再編加工)

漁獲物等販売金額

宗像市の経営体あたりの海面漁獲物等販売金額は増加傾向。
 金額帯別にみると1000万円以上の割合が増加傾向。
 しかしながら、どちらも全国平均、福岡平均と比べて低い。

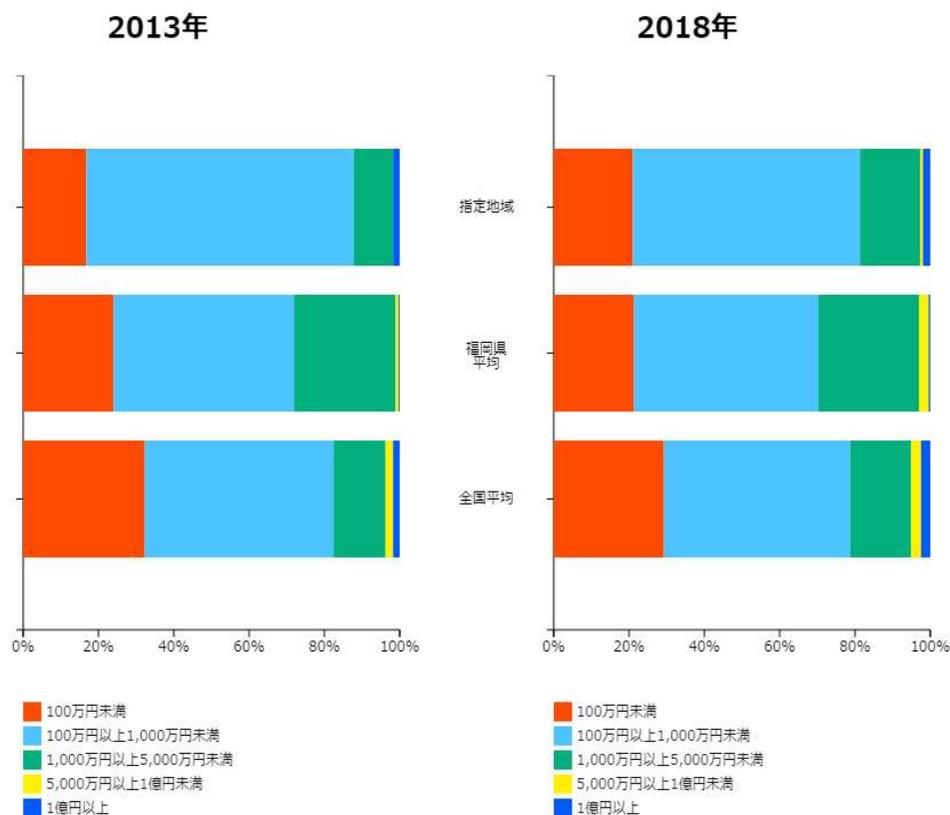
海面漁獲物等販売金額（経営体あたり）

指定地域：福岡県宗像市



海面漁獲物等販売金額帯別の経営体の割合

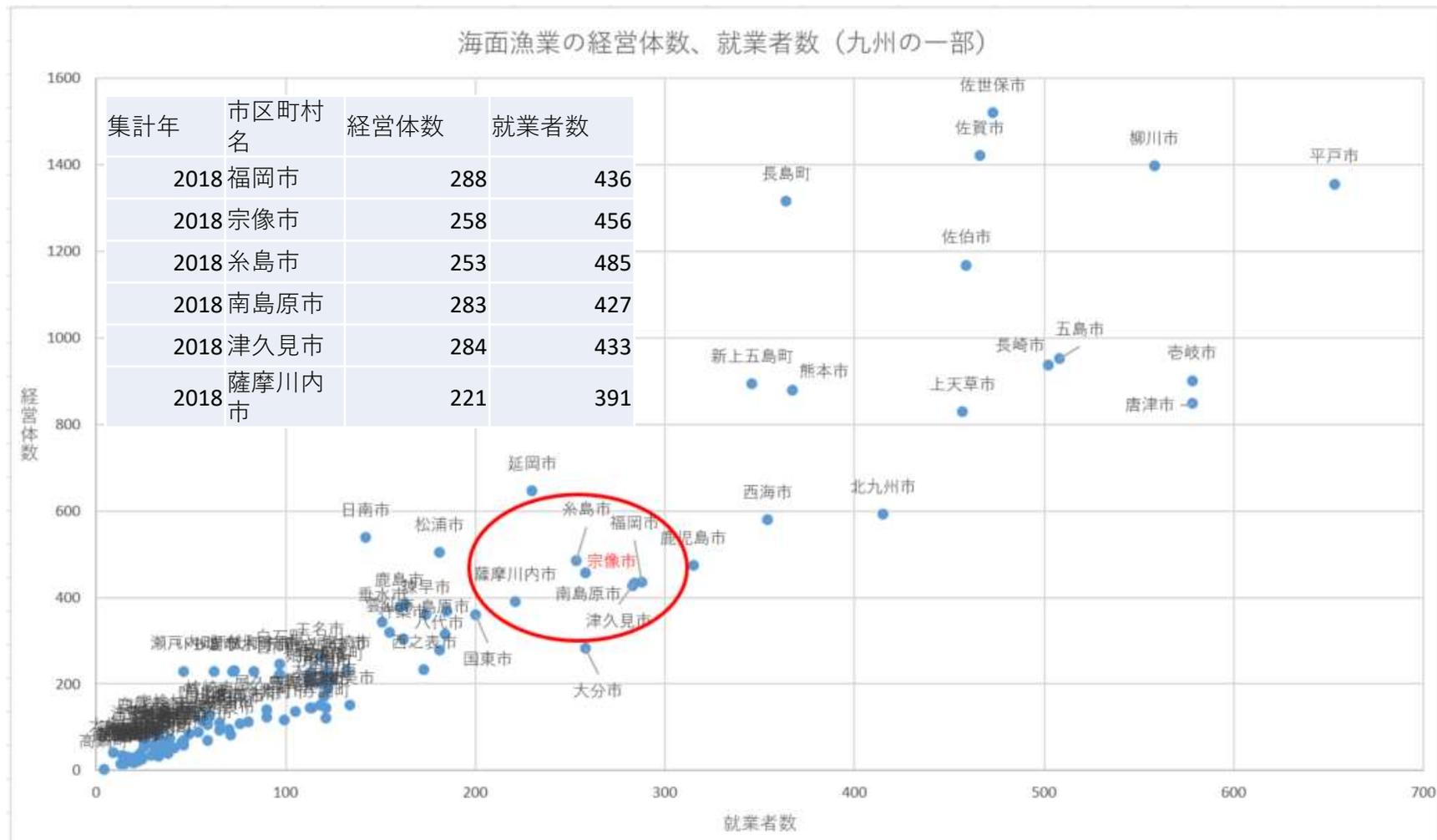
指定地域：福岡県宗像市



【出典】RESAS(農林水産省「漁業センサス」再編加工)

水産業_同規模程度の自治体(RESASデータ再編)

九州における経営体数、就業者数が同規模程度の自治体は「福岡市」「糸島市」「南島原市」「津久見市」「薩摩川内市」

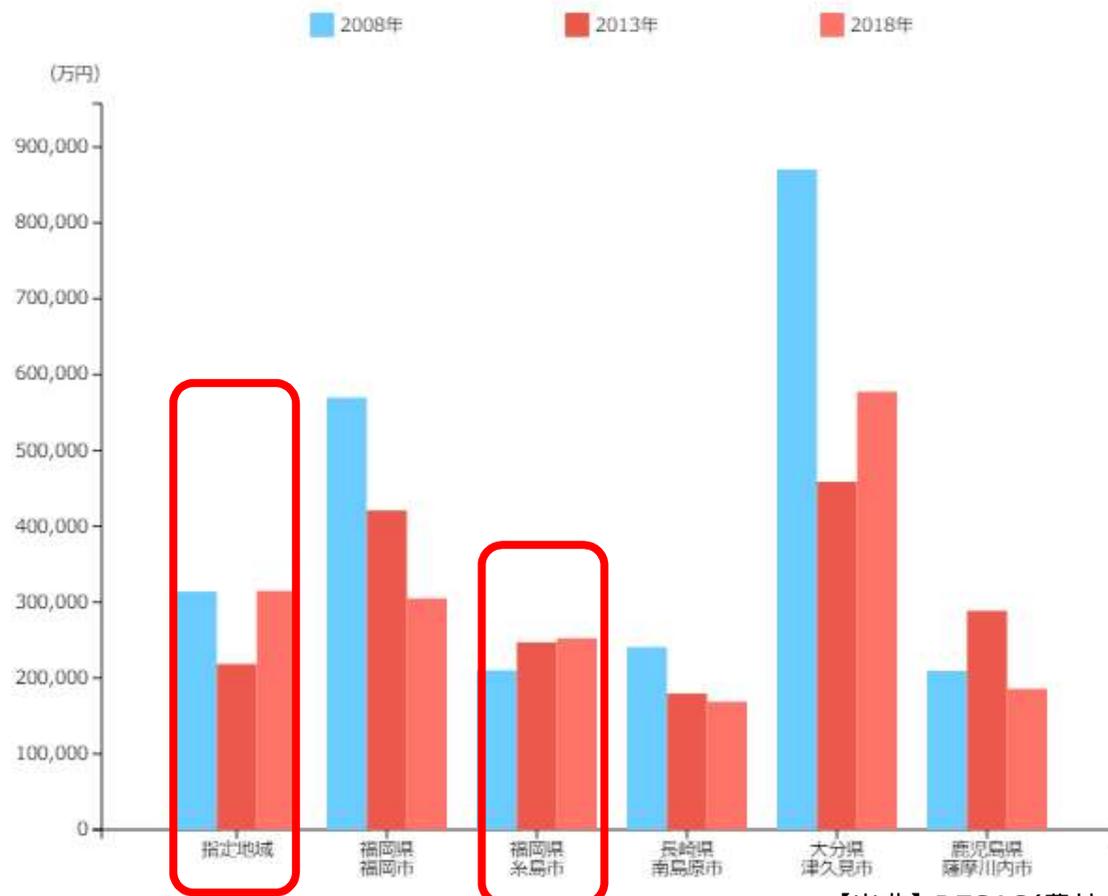


同規模程度の自治体との比較 1

販売金額2008,2018を比較すると、糸島市は増加しており、宗像市は横ばい、それ以外は減少している

海面漁獲物等販売金額（総額）

指定地域：福岡県宗像市



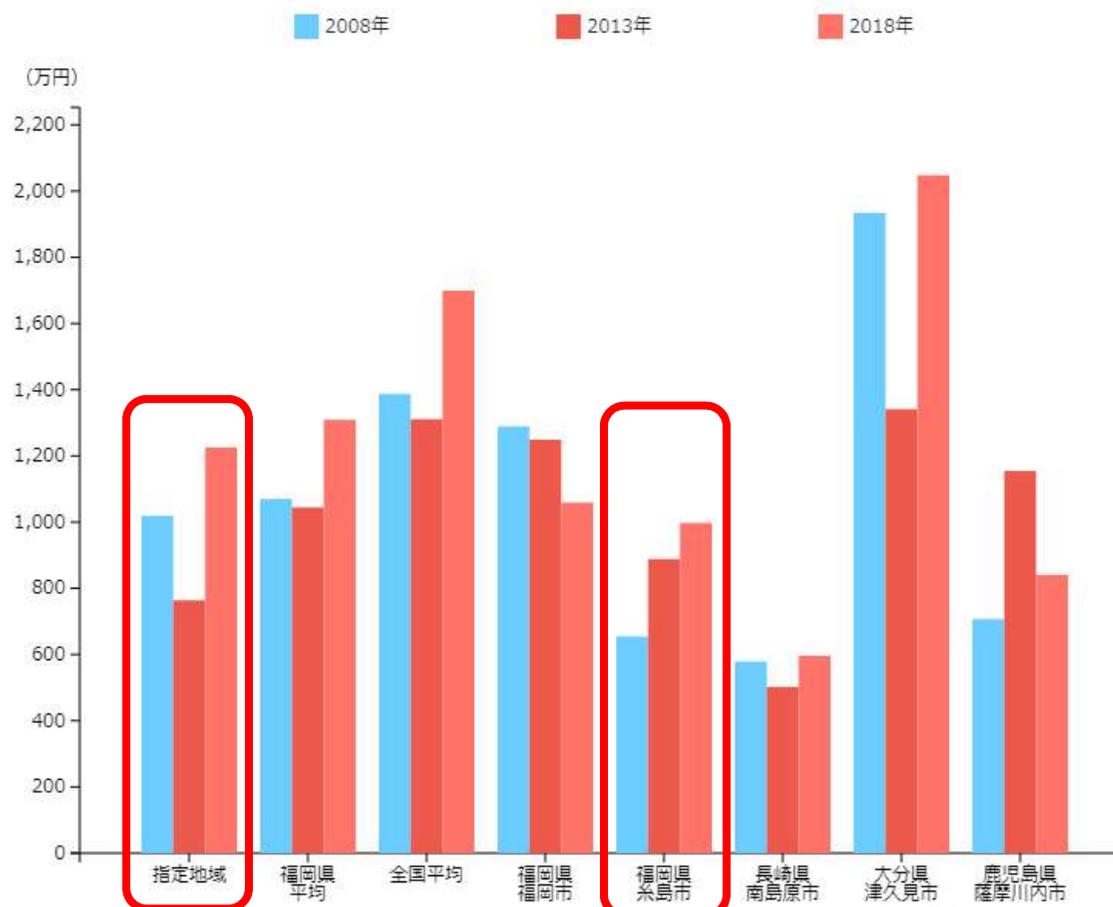
【出典】 RESAS(農林水産省「漁業センサス」再編加工)

同規模程度の自治体との比較 2

経営体あたりの販売金額は、宗像市、糸島市、南島原市、津久見市は増加している。
特に糸島市は着実に金額を伸ばしている
福岡市、薩摩川内市は減少している

海面漁獲物等販売金額（経営体あたり）

指定地域：福岡県宗像市



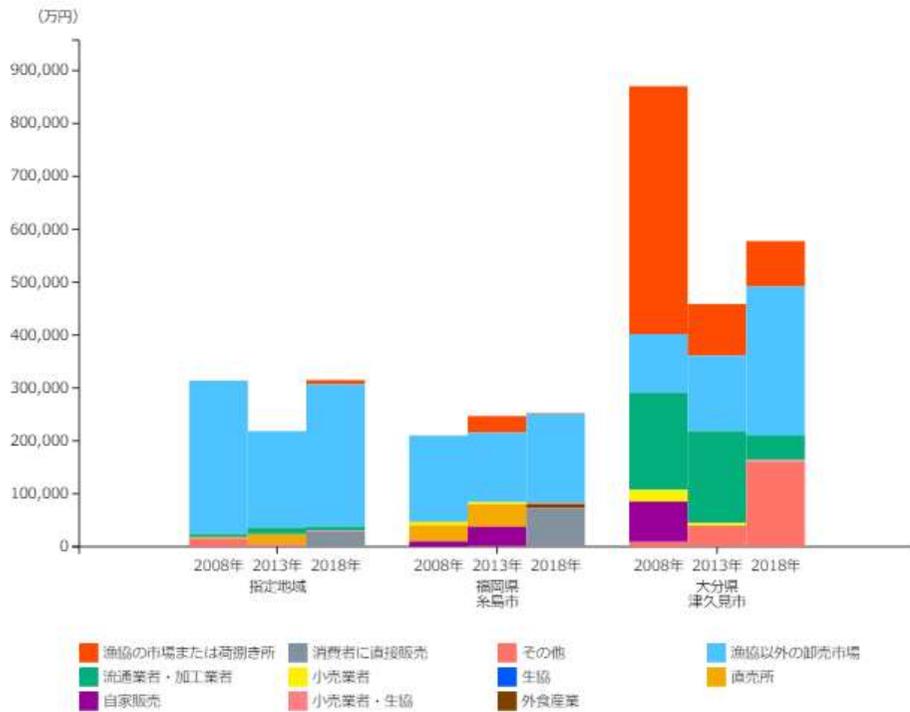
【出典】RESAS(農林水産省「漁業センサス」再編加工)

同規模程度の自治体との比較 3

宗像市、糸島市は販売金額、経営体数ともに消費者への直接販売が伸びている。

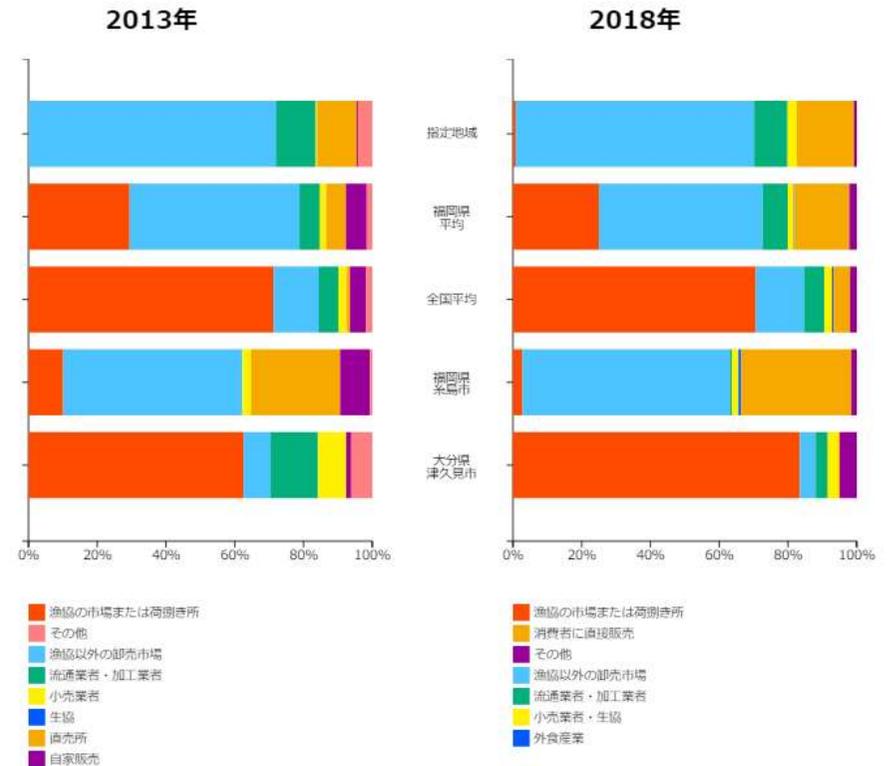
海面漁獲物等出荷先別販売金額の構成

指定地域：福岡県宗像市



海面漁獲物等出荷先別経営体数の割合

指定地域：福岡県宗像市

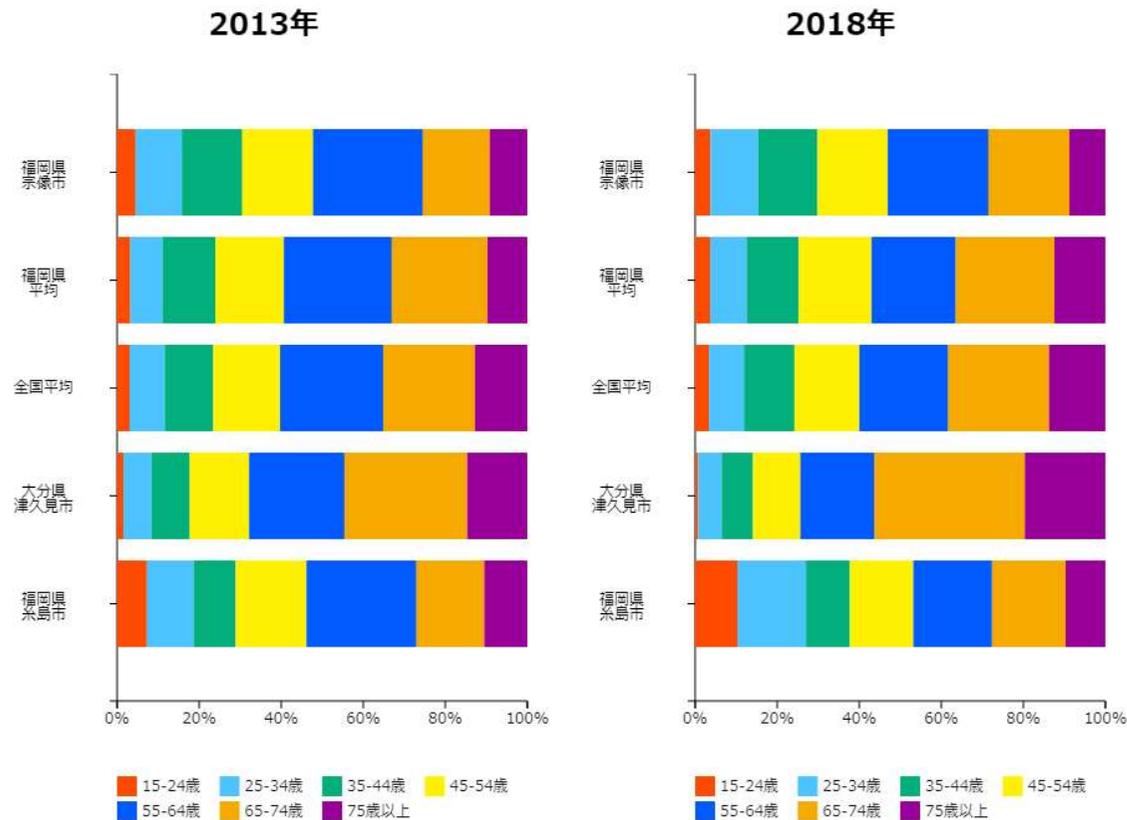


【出典】RESAS(農林水産省「漁業センサス」再編加工)

糸島市の年齢構成は若年層が増加傾向

海面漁業就業者の年齢構成

指定地域：福岡県糸島市
性別：総数



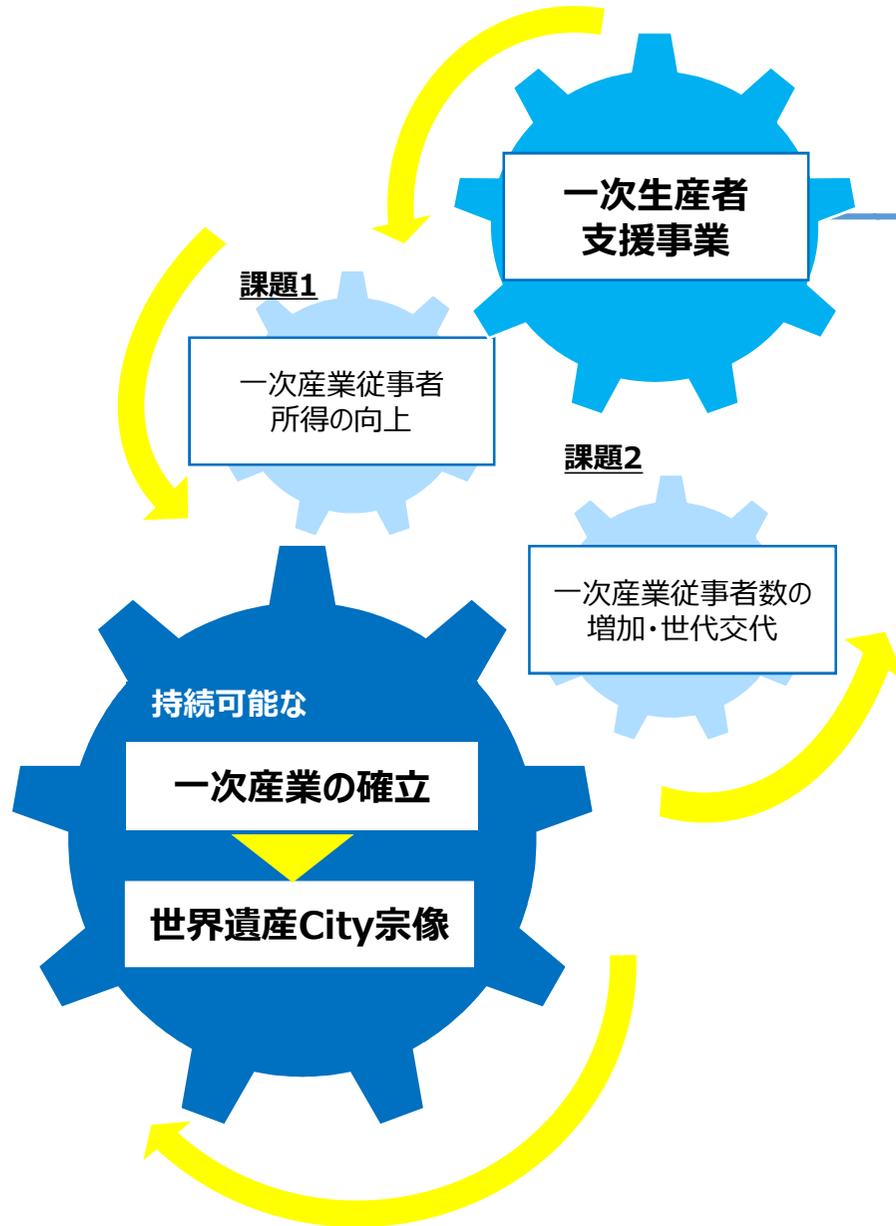
【出典】 RESAS(農林水産省「漁業センサス」再編加工)

宗像市の漁業は以下のような強みと弱みがあることが分かった
高齢化の解消と所得の増加が課題

強み	弱み
<p>1. 若年層の占める割合が県、全国平均と比べて高い</p> <ul style="list-style-type: none">・ 54歳以下の割合は全国平均、福岡平均と比べて高い。 <p>2. 経営体あたりの販売金額が増加傾向</p> <ul style="list-style-type: none">・ 金額帯別にみると1000万円以上の割合が増加傾向 <p>3. 直接販売が伸びている</p> <ul style="list-style-type: none">・ 販売金額（総額）（経営体あたり）が年々上昇している自治体は、消費者への直接販売が伸びている傾向がある。	<p>1. 高齢化が進んでいる</p> <ul style="list-style-type: none">・ 他地域と比べ、若年層の占める割合が高い一方で、年々高齢化率が上がっている。 <p>2. 経営体あたりの販売金額が低い</p> <ul style="list-style-type: none">・ 福岡県、全国平均と比べて経営体あたりの販売金額が低い。 <p>販売金額（総額）（経営体あたり）が年々上昇している同規模自治体では、若年層が増加傾向 →儲ければ若い新規就業者が増え高齢化の歯止めになる可能性</p>

Chapter 6 政策立案

項目	特徴
市全体	<ul style="list-style-type: none">・世界遺産「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」を有する。・就職のタイミングで人口が減少しているものの、ファミリー層については順調に転入している状況である。
宗像市産業	<ul style="list-style-type: none">・三次産業が主要な産業である。(生活基盤として充実している)・農業、漁業が特徴的な産業である。
農業	<ul style="list-style-type: none">・世界遺産の価値に密接な関りがある。・高齢化と就業者数が減少している。・観光農園等、多角的に事業を営む農家が少ない
漁業	<ul style="list-style-type: none">・世界遺産の価値に密接な関りがある。・高齢化と就業者数が減少している。・経営体あたりの販売金額が低い。



具体的取り組み

施策1
☞ 宗像でやってみタイ(農業体験)

施策2
☞ 宗像に住んでみタイ(ワーケーション)

施策3
☞ 宗像をとどけタイ(宗像BOX)

国・県 事業活用	就業補助制度
	移住・定住策

● 宗像でやってみタイ(農業体験)

【概要】

- ・畜産、農業等の一次産業や産業体験等の50の体験メニューを立案
- ・世界遺産都市ならではの体験

【目的】

- ・一次産業などに触れるきっかけづくり
- ・一次産業従事者の所得の向上

【時間軸】

- ・日帰り

【ターゲット】

- ・ファミリー層、アクティブシニア
- ・地域の産業に興味のある人
- ・非日常を楽しみたい方
- ・修学旅行、体験学習



● 宗像に住んでみタイ(ワーケーション)

【概要】

- ・漁業、農業体験をワーケーションとクロス
- ・体験を通して域外から担い手を取り込む
- ・みあれ祭への参加等、世界遺産とクロス

【目的】

- ・一次産業従事者数の増加・世代交代
- ・一次産業従事者の所得の向上
- ・体験を通して宗像の魅力を発信

【時間軸】

- ・一定期間

【ターゲット】

- ・働き世代
- ・一次産業に従事してみたいと思っている方
- ・UIJターンを検討している方
- ・独立(副業)を検討している方



● 宗像をとどけタイ(宗像BOX)

【概要】

- ・宗像の農林水産、商工業のBOX
- ・料理教室、レシピ動画と連動
- ・体験農業の収穫物を織り交せる
- ・宗像大社への献上品を含める
- ・体験との連携による高付加価値化

【目的】

- ・一次産業従事者の所得の向上
- ・宗像ファンの獲得

【ターゲット】

- ・地域食材に興味のある層
- ・非接触での商品購入を希望する方
- ・ミールキットを希望する層
- ・魚捌きから調理したい等、料理に拘る方



世界遺産×産業×体験による宗像の魅力発信

体験を通じた産業の高付加価値化

高付加価値化による一次産業の所得向上
一次産業の担い手を育成

宗像でやってみタイ(農業体験)

<背景・目的>

本市では、果実の産出額が比較的多く、また農協を通さずに小売や直販により所得を得ている農業者の割合が比較的多いと言える。一方で、観光農園を営む農家は少なく、高齢化が進んでいる。

そこで、農業従事者に対し、「農業体験」の受け入れの実施を促し、ファミリー層やアクティブシニア、体験学習などで農業に触れる機会を増やすとともに、従事者の所得の向上につなげる。

事業の実施には、市が委託する業者が一括で担い、「受け入れ農家の開拓・体制準備」支援、「広報活動」、「利用者からの問い合わせ・申込み窓口」の対応を行う。また、秋季大祭などと併せた“世界遺産CITY”ならではの体験メニューを造成し、観光需要を高める。

●スケジュール

<p>【0年目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の策定 	<p>【2年目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申込み開始 ・既存メニューとの連携
<p>【1年目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施事業者の選定 ・体験メニューの策定 ・協力者との実施に向けた協議 ・問い合わせ窓口の設置 ・広報活動 ・体験型観光プランコンテスト開催 	<p>【3年目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・50種類の体験メニューを確立 ・世界遺産都市ならではの体験 ・事業検証



<期待する効果>

- ① 農業者の新たな収入源の確保
- ② 農業分野の関心度の向上
- ③ 滞在時間増加による域内消費額の増加
- ④ 新たな観光資源の掘り起し

漁業体験についても、
漁協等と連携し、窓口を
一元化する

宗像に住んでみタイ(ワーケーション)

<背景・目的>

農業従事者の高齢化は県内でも進んでおり、担い手不足や農業産出額の低迷につながっている。漁業従事者についても、高齢化は進んでおり、販売金額は増加しているものの県平均・全国平均に比べ低い。

一方で、一次産業に関心がある人でも、重労働や所得が不安定などのイメージを持つ人が多い。

そこで、働きながら一次産業に携わる機会を設けることで、就農・就漁への足掛かりとする。

また、受け入れ者は講師謝金による所得向上を図る。参加者には「ワーケーション」や「副業」の選択肢として所得向上を図るとともに、移住・定住による市内外からの担い手確保を狙う。

●スケジュール

<p>【1年目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援組織立ち上げ ・事業計画等の立案 ・受け入れ農家との調整 	<p>【3年目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術研修受け入れ ・市内への移住・定住のPR ・事業検証
<p>【2年目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おためし農業受け入れ開始 ・企業へのPR活動 	



<期待する効果>

- ①仕事をしながら農業に携わることができる。
- ②企業研修の一環として受け入れることができる。
- ③副業として農業を始める人材の掘り起し。
- ④実体験を通じて、本格的に農業を始める人材の掘り起し。
- ⑤市内外からの移住・定住につながる。

漁業体験についても、漁協等と連携し、実施する

宗像をとどけタイ（宗像BOX）

<背景・目的>

本市の農業・林業、水産業は売上特価係数が非常に高く、県内では特異な業種である。また、多くの自治体で一次産業の販売額推移が減少傾向にある中、宗像市では減少に転じていない。さらに、ブランド果実(あまおう、甘夏等)や海産物(とらふぐ、あかもく、あなご、やりいか等)、畜産物(宗像牛、むなかた鶏等)を多く生産しており、個々の稼ぐ力は高いといえる。

そこで、コロナ禍で宗像を訪問する機会が減少している社会情勢も踏まえ、各産業の特産品を詰め込んだ“宗像BOX”をつくり、産業間の横連携により宗像の魅力を域外にとどける。また、事業連携による高付加価値化によって商品単価の向上を図る。

<展開>

- ・料理レシピ動画や料理教室と紐づけBOXを介した体験を付加する。
- ・ワーケーションや産業体験で生産に携わった方へ、収穫した農作物等を織り交ぜたBOXをとどける。
- ・宗像大社への献上品を含める。
- ・コンペ形式によるBOXのアイデアを募集する。

●スケジュール

<p>【0年目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画等の立案 ・BOX内容選定 	<p>【2年目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイデアBOX販売 ・料理レシピ運用
<p>【1年目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BOX販売 ・BOXアイデアコンペ ・料理レシピとの連携 	<p>【3年目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワーケーション連携 ・事業検証



<期待する効果>

- ①域外への出荷、高付加価値化により、所得増加につながる。
- ②宗像の農林水産物の認知度向上。
- ③認知度向上により、コロナ禍後、宗像への来訪が増加。

宗像市ふるさと納税返礼品ランキング(令和元年度)

- 1位**  **圧倒的なボリューム！
福岡のブランド牛「博多和牛」**
1600g
- 2位**  **いちごの王様！
福岡のブランドいちご「あまおう」**
1120g
- 3位**  **2019年 ふるさとチョイス
総合ランキング第1位獲得！**



これらを1つにまとめて宗像産品をPRしつつ、宗像の農林水産物+産業をPR

- ・内容によって価格を分ける
- ・ふるさと寄附ランキング品だけでなく、市の特産品を入れる

